

＝祈りの絆＝

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/

■遠野ボランティアセンター

先月より毎月、第2、第4週を基本にボランティアを募集しています。まごころネットでのがれき撤去や泥出し、まごころの郷などのお茶っ子のお手伝いと、小鉾町第4仮設住宅や吉里吉里町の仮設住宅などでの仮設支援を組み合わせた活動を準備いたします。

6月の活動では、なごみカフェでのメニューの一つ、熊本銘菓、いきなり団子の仕込みをします。

また、夏休みにはあちこちの仮設住宅の集会所で子どもたちの学習支援を行えるかどうか、現在、大槌町役場と調整中です。



いきなり団子

今年の夏、ぜひ、遠野においてください。その際は、連盟のホームページで日程を確認していただき、申し込み用紙をダウンロードして記入し、遠野センターにメールで、あるいはFAXにてお送りください。

尚、必ず地域の社会福祉協議会に行き、ボランティア保険に加入して参加してください。

■今までの活動

郡山コスモス通りキリスト教会の屋根、瓦の修理、壁の除染、内装の整備が終わりました。5月18日、19日、川崎教会から7名の壮年の方々が来てくださり庭の草を抜いたり、土を入

れ替えたりして整備をしてくださいました。

また、今回は郡山コスモス通りキリスト教会が支援活動している緑ヶ丘仮設住宅に大工道具を抱えて出向き、ボランティアの台を作ってくださいました。この台があると、立ったままプランターの花や野菜の手入れができるようになります。また、ボランティアにきてくださった方が園芸教室も開いてくださり、目を輝かせて実習をしておられる仮設の方がたの姿を見て、みている私たちがうれしくなりました。



1. 女性連合実行委員会視察

石巻

5月30日、女性連合実行委員会が仙台で行われ、最終日は、仙台北教会が支援をしている宮前仮設住宅で「あいあいプロジェクト」と石巻視察が実施されました。宮前仮設住宅では、13地方連合の女性会会長さんたちが持ち寄ってくださったお土産が振舞われ、あちこちから歓声があがったとのこと。また、吉岡伝道所の野口直樹牧師が石巻視察チームを案内してくださいました。途中でお昼ごはんに立ち寄ったお店は、西南女学院卒業生の方が震災で大変な被害を受けられたにもかかわらず、復興されたお店でした。お店の中にも1・8メートルの津波が押し寄せて、屏風にできたシミが当時の様子を物語っております。

親しくお交わりをいただきながら、後世にこのことを伝えておきたい、という熱い思いが伝わってきました。こぼされる涙のむこうにはつきりと見ておられる希望が感じられ、改めてミッションスクールの務めがいかに大切なことかを実感いたしました。その後、石巻を視察しました。今も廃墟の状態の町をみて改めてあの日の惨状を思い、1日も早く復興できるように祈らざるをえない時を過ごしました。

2. 遠野センター運営委員会紹介

毎月1回、盛岡教会で遠野ボランティアセンターの働きについて話し合いが持たれる運営委員は福田雅祥(長)、林健一、大須賀真人、佐藤浩、金子千嘉世、陪席が、大須賀綾子、佐藤有子の各氏です。委員会では、ボランティアの受け入れについて、活動計画や予算が話し合わせ、佐藤主事の働きを支えます。

■今後の働き

先日、藤沢教会の礼拝に招かれ、東北の現状報告をさせていただきました。そこでは、青年会が取り組んでいる震災支援活動の計画が報告されました。今年度の募金額15万円、現在すでに11万円集まっているとのこと、あちこちに貼られた自作の震災ポスター。今から作られる「しおり」、思わず涙がこぼれました。自分たちに何ができるだろう。長く支援するためにどうすればいいのだろう。その問いを真剣に捉えてくださっている姿を拝見し、帰り道はなんだかスキップしたくなりました。

(現地支援担当・金子千嘉世)

遠野ボランティアセンター

ボランティア募集

前回ご案内しましたように、遠野ボランティアセンターで定期的にボランティアを募集いたします。

●7月の募集

- 日程 ①7月9日(月)～14日(土)
 応募期間・6月25日(月)まで
 ②7月23日(月)～27日(金)
 応募期間・7月9日(月)まで

※集合時間は後日お知らせします。

募集人員 15人

活動内容

仮設支援と「まごころネット」での活動(おもに、ガレキ撤去、本の整理、お茶っこの会など)をするボランティアを定員15名まで先着順にて決定します。連盟の東日本大震災被災地支援委員会のホームページより、申込用紙をダウンロードしてセンターにお申し込み下さい。

「あいあいプロジェクト」石巻視察



東日本大震災被災地支援委員会 原発課題班コラム 原子力発電所事故と放射能について 知っておきたいこと

①・自分の頭で考える

この連載コラムは、原子力発電や、放射能についての基礎知識を共有するためのものです。東京電力福島第一原子力発電所事故について、キリスト者としてどのように向き合えばいいのか、読者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

第一回目は「自分の頭で考える」という主題で一言。

イエスキリストの口癖は、「アーメン、わたしは言う」でした(マルコ7:28等)。すごい言葉だと思います。わたしたちはしばしば、「みんなが言っていること」「テレビが伝えること」「専門家が教えること」に流されがちです。しかしイエスキリストは、「わたしは」という主語を必ずたて、神の前にまず一人で立ち、自分の言葉で真実の意見を述べる方だったのです。

今回の事故はわたしたちの生き方を揺さぶるものでした。わたしたちは、この国の原子力行政について今まで知らなかったこと・知らされなかったこと・知ろうとしなかったことを悔い改める日々を過ごしています。もうだまされたくないし、被ばくを強いられた人や今も被ばくを強いられている人と連帯したいのです。(原発課題班 担当・濱野)

祈りの課題

- ① 東京電力福島第一原発事故の収束を覚えて。
- ② 遠野センター運営委員会の働きを覚えて。
- ③ 手つかず状態の被災地域の復興が始まるように。
- ④ 現地の諸教会を覚えて。



←活動報告をご希望の方は、冊数をご連絡ください。

TEL: 048-883-1091

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください

すべての支援活動は、募金によって支えられています。

2012年度募金の目標総額は2000万円です。

2012年4月～5月で2,565,462円が寄せられました。

募金総額 163,825,713円(内、海外から76,160,614円)が寄せられています。お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先:郵便振替00140-9-180881宗教法人日本バプテスト連盟総部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。

※募金は極力、教会単位で送金ください。海外からの募金は別口座になります。

総務部までお問い合わせください。